第7期総合計画事務事業進行管理調書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	総合計画進行	·管理事業			事業期間	平成1	7年度 ~	— 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	政策調整課企画調整係
目的 (何のために実施するのか)	まちづくりを進& とにより、効率的			ある「第7期総合	- 計画」の進捗状況	. 成果の達成原	度など管理する	- ・ (どのような方法で 実現するのか)		事務事業進行管理 定および次期総合				また、総合計画中間年の点検
対象 (誰・何を対象として いるのか)	第7期総合計画登	登載の施策及び事	務事業。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	事務事業の計画額 る。また、行政調 成度などを明られ	評価を行うことに	より、課題などの	洗い出しができる	るとともに、管理語	画的な実施と進行管理が図られ 倜書で示されている成果指標の達 とができる。
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	第6期総合計画 第6期総合計画 画策定時や中間	策定の時期とも重っ こおいては客観的っ 年において行政評	ょった平成20年度 ょ「ものさし」と 西を行いながら次	には、167事業の引 して成果指標を設 期総合計画へとつ	事務事業評価と 定し、総合計画 なげる取り組み	42施策の施策評 の事務事業進行 とした。		果は総合計画策定重動させるシステム	のための検討資料 ムを構築、計画期	としてきた。 間の10年間を1サ	イクルとしたなか	\で、事業費や事業	った。 で こ 成度を点検・分析し、実施計 が る 取り組みを行う。

[DO]

実績

(単位:円)

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	その他					0				0					0	0
さ		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財源					0				0					0	0
た		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
事	事業費合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-114-		予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費																
	事業費予算の															
の	内容															
推																
100																
移	前年度予算と															
	の比較															
	(増減理由)															
	実績との比較 (増減理由)															
	(増減理由)															

[CHECK · ACTION]

指標の推移・評価

·	461-			TE IT A W G	m = -4== / 11 ····		He to a second of		I.L. visi								
		(「手段」をも		指標名:進行管理			指標の求め方:領										
成果	指標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:成果指標が	が達成されている掲	載事務事業の割合	指標の求め方:原	X果指標を設定し	ている事務事業の	つっち、目標が達	成されている事務	事業の割合					
					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	13 力年計画			第	3次実施4カ年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標 1 (単位/回)	計画値	1	1	1		1	1		1		1	_	1		
	指標		実績値 計画値		l l	I		I									
	Jak	成果指標 1 (単位/%)	実績値	49.9	49. 1	— 49. 5						<u> </u>					
		事業の達成度		49. 9	49. 1	49. 0		50.0									
		(活動指標を					達成されている										
		事業の成果	\				あまり上がってい										
		(成果指標を					ない										
		事業の効率性					変わらない										
		総合評価	7 切风木/				普通である										
		小の口計1四		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
				今年の左座市改	人 和 4 左 由 表 数	今和日午中事政事	*# 4 4 4 TH A TO I	今年の左中市 教			刊剧廷田.	B C 77 177 .	B C 77 471 .		B C 7 1/1 .	刊剧廷田.	
				事業進行管理を	事業進行管理を	業進行管理を行っ た結果 成果指標	進行管理の取り 組みに実実を 毎年度、実施事業に 掲載の各も、に でいてどおります。 計画にでおります。	事業進行管理を									
				行つた結果、放 単指標の達成率	行つた結果、成 里指煙の達成率	の達成率は49.5%	毎年度美施して	行つた結果、放 里指煙の達成家									
				は49.9%(達	は49.1%(達	(達成:159件、未	掲載の各事業に	は50.8%(達									
				成:162件、未達	成:157件、未達	は、約半数の事業	ついても、ほぼ	成:170件、未達									
事	===			業が日標を達成	学が日標を達成	いない状況であっ た、会和5年度に	されている。し かしながら、当	以降達成率は初									
	評価			していない状況	していない状況	ついては、新型コ	初設定した成果	めて50%を超え									
務	内			であった。令和	であった。令和	ロナウイルス感染	指標について	たが、依然とし									
323	容	40. 0	ET IT A VIII NO	■3年度は新型コ	4年度について	症かり類へ移行し たものの、人々の	は、新型コロナ	て、新型コロナ									
	_	総合理由	評価の判断 またけ指標	3年度に新型コ 4年度について 1位		行動がコロナ禍前	リイル人際栄証の影響もあり	リイル人感栄症以降の人々の行									
事		総合評価の理由また(の実績値)		う事業の中止等	ロナウイルス感	まで戻っていない	約半数の事業が	動の変化や、コ									
				により、主に事	染症の影響に伴	を経て事業の実施	目標に達してい	ロナ禍を経て事									
業	る自己分析			業の参加人数や	つ事業の中止等	方法等を見直した	ないことから、 総合評価は「普	業の実施万法等 を見直したこと									
							通である」と判										
				┃なったため、達	回数等を用いた	など)により、事	断する。	数制限を設ける									
評				成率が低くなっ	指標が未達成と	業の参加人数や回数等を用いた指標		など)により、									
						数等を用いた指標が未達成となった		事業の参加人数 や回数等を用い									
価				1000	たものと推察さ	ことか、连戍卒か	`I	た指標が未達成									
11444					れる。	低くなった主な要 因だと推察され		となっている。									
				I		る。											
		今後の方向性	Ė				現状のまま継続										
				R5:	り目がたホーナコ	A110 F == * '		R8 :				R10 :					
						令和3年度事業か ても、事務事業評											
						しながら、効率的						1					
				サービスの提供ス	及び第7期総合計	画事業の計画的な	事業実施を進め					1					
				る必要があることから「現状のまま継続」と判断する。 なお、目標に達していない事務事業については、実績及び自己分析 を踏まえ改善していく必要がある。								1					
		生の判断理由										1					
		改革の内容 R8、R10)			\	•						1					
	(110,	110, 1110/										1					
				I								1					
												1					
				I								1					
				I								1					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	総合戦略進行	·管理事業			事業期間	平成	27年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	6-3-1	他に関連する 基本事業						所管課係	政策調整課企画調整係
(何のために実施する	証できる重要業績	責評価指標(KPI)を	E設定するとともに	こ、それに基づき	・ひと・しごと創生 ・、毎年、外部有識 各事業の進行管理を	者による砂川市	施策を客観的に検 市総合戦略推進委員	手段 (どのような方法で 実現するのか)			合戦略において設 事業の進行管理を		き、砂川市総合戦	略推進委員等による評価・検証を
対象 (誰・何を対象として いるのか)	・砂川市まち・で・砂川市総合戦略		総合戦略登載の事	務事業及び施策								業効果の評価・検 業の推進につなけ		管理が図られる。これにより、課
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	の希望の実現」 合戦略」を策定し	「時代に合った地域	域づくり」の4つ 削生の取り組みを	の基本目標を柱に 推進している。な	具体的な施策	を取りまとめた「石	少川市まち・ひと・	しごと創生総合単	战略」を平成28年	1月に策定した。	その後、令和3年	3月には「第2月	出」「人の流れの変化」「若い世代 明砂川市まち・ひと・しごと創生総 による検証機関において評価を行

[DO]

実績

第1次実施3力年計画 第2次実施3力年計画 第3次実施4力年計画 第4年次 第1年次 第2年次 第3年次 第5年次 第6年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 総合計画 実施3カ年 実施3カ年 実施4カ年 合 計 合 計 (6年度) 合 計 計 (3年度) (4年度) (5年度) (7年度) (8年度) (9年度) (10年度) (11年度) (12年度) 計画額 予算計上額 実 績 額 計画額 予算計上額 実 績 額 方 計画額 予算計上額 投 実 績 額 計画額 0 予算計上額 さ 実 績 額 一般財源 計画額 78, 000 78, 000 78, 000 234, 00 75, 000 75, 000 75, 000 225, 000 75, 000 75, 000 75, 000 75, 000 300, 00 759, 000 予算計上額 78, 000 65, 000 75, 000 218, 00 75, 000 98, 000 173, 000 391,000 実 績 額 54, 890 29, 890 25. 180 109, 96 29, 710 29, 71 139, 670 計画額 75, 00 759, 000 事業費合計 78, 000 78, 000 78, 00 234, 00 75, 000 75, 00 225, 000 75, 000 75, 00 75, 00 75, 000 300, 00 予算計上額 78, 000 65, 000 75, 000 218, 00 75, 000 98, 000 173, 000 391, 000 実 績 額 54, 890 25, 18 109, 960 29, 71 29, 710 139, 670 委員報償 69千 委員報償 59千 委員報償 69千 委員報償 69千 委員報償 89千 費 費用弁償 6千円 費用弁償 9千円 費用弁償 9千円 費用弁償 6千円 費用弁償 6千円 事業費予算の の 内容 推 委員報償の増 委員報償及び費 委員報償の増 前年度同額 委員報償及び費 用弁償の増(第 用弁償の減 前年度予算と 3期総合戦略策 の比較 定年のため推進 委員会の回数増 (増減理由) によるもの) 報償費の辞退者 総合戦略推進委 総合戦略推進委 総合戦略推進委 がいたことによ 員会の開催回数 員会の開催回数 員会の開催回数 実績との比較 る減 減による報償費 減による報償費 減による報償費 (増減理由) 等の減 等の減 等の減

(単位:円)

[CHECK · ACTION]

指標の推移・評価

		▶・8 11111															
活動	指標 1	(「手段」をも	とに設定)		埋及び評価実施数		指標の求め方:名										
成果	指標 1	(「成果」をも	とに設定)	指標名:目標が通	達成されている掲載	城事務事業の割合	指標の求め方:K	PIを設定している	る事務事業のうち	、目標が達成され	ιている事務事業 <i>0</i>	D割合					
					第1次実施	13 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画合計
			1	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	Ti at
	4E:	活動指標 1 (単位/回)	計画値実績値]	1	1			1		1	 	1	-	1] 	
	指標	成果指標 1	美粮他 計画値						_	_			 _	<u> </u>	 		
		(単位/%)	実績値	51. 3	40.0	45. 0)	54. 8						-			
		事業の達成度 (活動指標を					達成されている										
		事業の成果 (成果指標を:	もとに評価)				あまり上がってい ない										
		事業の効率性(事業費に対					変わらない										
		総合評価	, 0,,,,,,,				普通である										
事務事業評価	評価内容	理由 の実	または指標	署を3証令標い(い達割あ標事のめのでらは、は、実施を行るを配達ののでは、はが、では、のでは、はがをです。とは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	署を4証令標いでは、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	署をち証令標い(い達割あ標事ののでは、は、主義に実任を和値るる値等のをという。 はが、を目上、ことのでは、を目上、ことのでは、を目上、ことのでは、を目上、ことのでは、をは、とのでは、をは、とのでは、といくのでは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これは、これ	「普通である」 と判断する。	署において評価 を実施と 6年度で行る 6年度で 5年度で 6年度に 6年度に 標値を 7世の 7世の 7世の 7世の 7世の 7世の 7世の 7世の 7世の 7世の	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性					現状のまま継続										
	方向f 改善、 (R5、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)		R5: 名事業に設定した重要業績評価指標((PI))に基づき、名者による砂川市総合戦略推進委員会において評価する員会において出された意見を計画に反映させ、PDCAサし、各事業の進行管理を行ってきた。 各事業に設定した重要業績評価指標((PI)の達成率につた50%程度であり、伸び悩んでいるものの、進行管理とにより、課題などの洗い出しができ、より効率的・の推進につながっていることから、「現状のまま継続る。			るとともに、委Aサイクルを実施については、約40 「理を実施するこ」・効果的な事業	R8 :				R10 :					

第7期総合計画事務事業進行管理調書

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	職員研修事業				事業期間	_	年度 ~ —	年度						·
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-3-2	他に関連する 基本事業						所管課係	総務課職員係
目的 (何のために実施するのか)	職員が自ら考え、 る市民ニーズに交			意識改革・能力	- 開発を重点とした資	質向上を図り	、複雑・多様化す	手段 (どのような方法で 実現するのか)	向上や業務に臨 職務上必要な	む姿勢などを養う	ため職場内研修を 等を習得するとと	行う。		術の習得をはじめ問題解決能力のできる創造性、問題解決能力の向
対象 (誰・何を対象として いるのか)	全職員							成果 (どのような効果が 得られるのか)		に必要な専門的な スの向上が図られ		€力などを身に付け	けることにより、i	市職員としての資質を高めること
事業開始時の状況緯	・これまでの経	行政を取り巻く忄	情勢の変化に対応し	ンた研修項目な と	ごの見直し(道外研	修先参加事業~	や自主研修事業の見	直しなど)に加え	て、e-ラーニン	グ(リモート研修))、実地型研修を	多く取り入れてし	いく取り組みを進む	めている。

[DO]

実績

(単位:円)

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
7	そ	の他	計画額	300, 000			300, 000	30, 000			30, 000					0	330, 000
₹			予算計上額	300, 000			300, 000	120, 000			120, 000					0	420, 000
			実績額	0	90, 000	90, 000	180, 000	90, 000			90, 000					0	270, 000
れ	— 船	段 財 源	計画額	4, 148, 000	2, 914, 000	2, 879, 000	9, 941, 000	3, 918, 000	2, 997, 000	2, 947, 000	9, 862, 000	2, 947, 000	2, 947, 000	2, 980, 000	3, 014, 000	11, 888, 000	31, 691, 000
+-			予算計上額	4, 148, 000	3, 946, 000	3, 541, 000	11, 635, 000	3, 828, 000	4, 059, 000		7, 887, 000					0	19, 522, 000
た			実績額	1, 849, 121	2, 715, 230	1, 746, 567	6, 310, 918	3, 024, 803			3, 024, 803					0	9, 335, 721
事	事 業	費合計	計画額	4, 448, 000	2, 914, 000	2, 879, 000	10, 241, 000		2, 997, 000	2, 947, 000	9, 892, 000	2, 947, 000	2, 947, 000	2, 980, 000	3, 014, 000	11, 888, 000	32, 021, 000
			予算計上額	4, 448, 000	3, 946, 000	3, 541, 000	11, 935, 000	3, 948, 000	4, 059, 000	0	8, 007, 000	0	0	0	0	0	19, 942, 000
業			実績額	1, 849, 121	2, 805, 230	1, 836, 567	6, 490, 918	3, 114, 803	0	0	3, 114, 803	0	0	0	0	0	9, 605, 721
費の推		費予算の 内容		,	手数料 343千円 参加負担金 280 千円	学数科 300千円 参加負担金 280千 円		報償費 420千円 旅費 2,824千円 消耗品費 68千 円 手数料 416千円 参加負担金 220 千円	月代品資 00十円 手数料 267千円 委託料 26千円 参加負担金 220千円								
移	σ,	度予算と)比較 減理由)		の研修旅費や新 規資格取得研修 参加による特別 旅費などの増	参加による特別 旅費などの減	修参加による特 別旅費などの減		新規資格取得研 修参加による特 別旅費などの増	資格取得研修参								
		との比較 減理由)		評価者研修未実施に よる報償費(外部講 師謝礼)減、コロナ 禍の研修中止による 特別旅費の減	よる報償費(外部講師謝礼)減、コロナ 禍の研修中止による	ラーニングによる		報償費(外部講 師謝礼)減、特 別旅費の減									

[CHECK · ACTION]

指標の推移・評価

ŧ	旨標の指	推移	・評価															
3	5動指標	票 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:職員研修	修受講者数		指標の求め方:職	銭員研修計画に基	づく受講者数								
J.	戊果指 桐	票 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:職員研修	修受講者の理解度		指標の求め方:受	·講者5段階自己理	里解度の平均								
Г						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	+画		第 7 期
					第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指		舌動指標 1 (単位/人)	計画値実績値	200 159	200 158	200 384		200 435	200	200		200	200	200	200		
	標	Ę Į		計画値	72. 0		76. 0		78. 0	80. 0	82. 0		84. 0	86. 0	88. 0	90. 0		
		_	(単位/%)	実績値	83. 6	83. 4	84. 8		88. 4									
		(事業の達成度 活動指標をも	とに評価)				ほぼ達成されている										
		(事業の成果 成果指標をも	とに評価)				変わらない										
			事業の効率性 事業費に対す	る成果)				少し上がっている										
		糸	総合評価					普通である										
	事務事業評価	15	総理のる		リ言な修るにたて専に活しな研入と、緊派大学をなっと、門の対した。の事と、機にいし加研も大がの主くきい、影が学をなっと、門の対方との修れ考え、ないで、で、ので、で、で、の、で、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、	ま点な新ル染り修るにたて専やり、 ま点な新ル染り修るにたて専やり、 大・一種・コミ大大中得っと委研教・協士など、 では、 では、 では、 できない これがも限に、 ないのではせこまえ修中に、 でいるが、 できない これがさとって や止よ動車 、イ感よ研ざとって や止よ動車	再であたがラりよぶ修の別界であた数はる。だった数はる。だったがラリよぶ修でから講値すたンる講な催後がでいた。と関ウが、と関ウが、と関ウが、といり、といり、といり、といり、といり、といり、という、という、という、という、という、という、という、という、という、という	研修がコロナ禍で中止になってしまうなど影響が大いにあった。ただ、	ス人で修と指加成で画に 大 い価規催り大。標績りし、 大 が修なた活に つしまれます。 で修と指加成で画に が修修なた活に つしまりし。 が修修なた活に つしまれます。 を修修なた活に つしまれます。 を修修なた活に つしまれます。 を修修なた活に つしまれます。 を修修なた活に つしまれます。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		4	今後の方向性					現状のまま継続										
					R5: 職員研修についる	てけ新刑コロナウ	イルス 成込庁に ト	し 作団での延	R8 :				R10 :					
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)				修が中止になって ラーニングでの研 きた。今後は集団 増えてきており、 なってきた。今後	てはまま 型コななな はまま ます。なな で で が の の が の が の の が の の は が の の は が の の は の の の の の の の の の の の の の	が大いにあった。 ことにより、中止 ート型の研修のハ 同様の研修態勢が -ニングなどを多く	ただ、zoomやe が少なくなって イブリッド型が とれるように く取り入れなが										